

(公社) 高知県理学療法士協会 令和6年度 第4回 理事会 議事録 (要約)

日時：令和6年8月21日(水) 18:45～20:45

場所：高理協事務室(レジデンスノナミ 107号室) WEB会議 ※ハイブリッド開催

出席者：会長；大畑

監事；市村・栗山

理事；西村・八坂・高芝・竹林・東・細田・和田

事務室長；山本

部長；総務(岡部)・財務(谷脇)

書記；曾我

<議題>

1. メール審議の承認について(八坂事務局長)

メール審議承認事項を確認した。

- ・ 「第63回高知県精神保健福祉大会」の後援について
- ・ 「第18回高知県作業療法学会」の後援について
- ・ 「第19回いきいき百歳大交流大会」の後援(名義使用)について
- ・ 神経理学療法学会の後援依頼について
- ・ 「リレーフォーライフ・ジャパン 2024 高知」の後援依頼について
- ・ 「ふくしフェア 2024」の後援について
- ・ 第18回 JIMTEF 災害医療研修への受講者推薦依頼について
- ・ 「第31回アルツハイマーデー記念講演会」にかかわる名義後援について
- ・ 会員区活動部：講師料の予算額超過について
- ・ 「介護×防災のリアル体験フォーラム」の共同主催・後援について
- ・ 「高知県在宅療養推進フォーラム」にかかわる名義後援について

2. 後援名義使用依頼の承認について(八坂事務局長)

「第22回高知ふくし危機展バイアフリーフェスティバル 2024(県社協)」後援名義使用を承認した。

3. 令和7年度 組織再編の検討について(大畑会長・西村副会長・八坂副会長)

部名と内容のリンク、各部仕事量の細分化・均等化、人材育成、事業計画の定着化解消、収益事業の新規開拓を行いながら会員数の確保と組織強化などを目標に三役にて組織再編の案を作成した。また、特定の施設ではなく多くの施設が関わることでの高理協運営・情報共有も重要であり部局数を増やすことを思案中であり、意見を求める。

4. 2025年度 高知県理学療法学会 学会長 推薦(竹林理事)

2025年度は、中央区域担当となり、学会長として近森リハビリテーション病院 高芝 潤 会員

(理事) を承認した。

5. 会員管理 (6月、7月分) について (岡部総務部)

6月、7月に申請された会員管理を承認した。

高理協における入会率を把握するため養成校に卒業生の動向状況の報告を要請し集約する案、新人オリエンテーションに関する情報が十分に浸透できていなかったため周知方法・職場配慮などの検討案が付言された。

[2024年6月]

- ・ 入会：計 9名：累積 36名
- ・ 復会：計 0名：累積 3名
- ・ 休会：計 3名：累積 15名
- ・ 退会：計 5名：累積 8名
- ・ 転入：計 0名：累積 5名
- ・ 転出：計 1名：累積 1名
- ・ 育児休暇割引：計 0名：累積 0名
- ・ シニア割引：計 1名：累積 1名

会員数 在会 1,340名 休会 319名 計 1,659名 (令和6年7月1日時点)

[2024年7月]

- ・ 入会：計 3名：累積 39名
- ・ 復会：計 2名：累積 5名
- ・ 休会：計 2名：累積 17名
- ・ 退会：計 0名：累積 8名
- ・ 転入：計 1名：累積 6名
- ・ 転出：計 0名：累積 1名
- ・ 育児休暇割引：計 0名：累積 0名
- ・ シニア割引：計 1名：累積 1名

会員数 在会 1,351名 休会 302名 計 1,653名 (令和6年8月1日時点)

<報告>

1. 第1回運営会議 (7月開催) について (八坂事務局長)

○協議内容

- ・ 令和6年度中央西区域第1回ブロック研修会の講師料について (岡部総務部長)
- ・ 龍馬マラソンの協力スタッフの謝金について (木下保健部長)
- ・ 会議費の支出と部長の業務負担について (奥田教育部長)
- ・ 一般の方からのメール対応について (岡部総務部長)

○確認と報告

- ・ 各部会計の担当者会議について (江口厚生部長)

2. 第1回認定スクールトレーナー資格講習会参加について（重島 晃史 会員）

本講習会はスクールトレーナーを養成する初めての講習会であった。スクールトレーナーは児童生徒等の運動器の健康保持や障害予防を担う役割を有する。一般公募に約 15 倍もの応募があったことから、本資格への関心の高さがうかがえた。

運動器の健康・日本協会は今回の受講生が各都道府県の学校保健分野で活躍することを切望しており、それぞれの場でスクールトレーナー制度や運動器障害の予防教育について啓蒙するよう勧めている。高理協や運動器の健康・日本協会と連携し、県士会会員や地域の児童生徒、教育関係者、医療保健関係者への理解を広げ、子ども達の健康増進や障害予防に努めていきたい。

- ・合格率：100% 高理協：2名（県推薦1名、一般公募1名）

- ・運営方針は、地域の教育機関が公益財団法人 運動器の健康・日本協会に依頼し協会からスクールトレーナーを派遣するシステムである。有資格者が自己判断で運動器検診を実施、教育機関に携わるものではない。現状、派遣内容は健康予防のための啓蒙活動である。

以上